

# ロードマップの進行状況について

# 世界最先端IT 国家創造宣言工程表（オープンデータ）

## 実施スケジュール（1. 革新的な新産業・新サービスの創出と全産業の成長を促進する社会の実現）

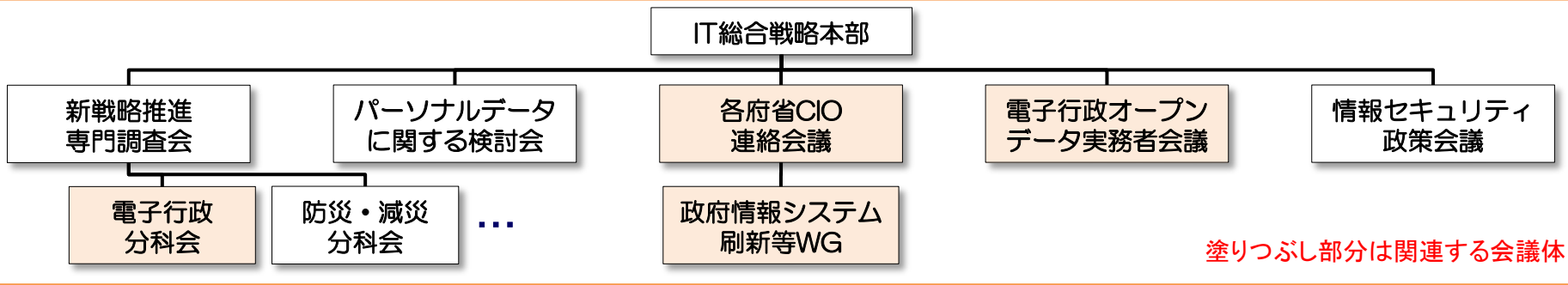
年度	短期			中期			長期			KPI	
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		
①オープンデータ・ビッグデータの活用 の推進	利用 ルールの 見直し	各府省ホームページ 利用ルール見直し 【内閣官房、全府省】	その他、必要な利用 ルールの見直しを行う 【内閣官房、全府省】							・各府省の オープン データ達成 状況	
	データ カタログ の整備と 公開内容 の拡大・ 充実	データカタログサイト 試行版立ち上げ 【内閣官房、全府省】	データカタログ サイト本格運用 開始【内閣官房、 全府省】	データカタログサイトの機能等の改善 【内閣官房、全府省】							・データカタ ログに掲載 されるデー タセットの 数、アクセ ス数・ダウ ンロード数
		オープンデータに係る基盤の整備 【内閣官房、総務省、経済産業省】			オープンデータに係る基盤の維持管理・普及 【内閣官房、総務省、経済産業省】						・オープン データを活 用して開発 されたアプ リケーショ ンの数
		情報流通連携基盤共通API(データモデル、 共通ポキャブラリ、標準API規格等)の開発・ 実証【総務省】									
		情報連携用語彙データベースの開発・実証 【経済産業省】									
		データカタログに登録するデータの充実 重点分野(地理空間情報(G空間情報)、防災・減災情報、予算・決算・調達情報、人の移動に関する情報、白書) から優先的に取り組む【全府省】									
		統計データのオープン化の推進【総務省、全府省】									
	地理空間情報(G空間情報)の流通基盤の整備等【総務省、国土交通省、経済産業省】										
	公共 データ の利用 促進	オープンデータの普及・啓発と人材育成 【総務省、経済産業省】									
		地理空間情報(G空間情報)を通じた新サービスの創出及び防災・地域活性化の推進 【総務省、国土交通省、経済産業省】									

# 世界最先端IT 国家創造宣言工程表（電子政府）

## 実施スケジュール（3. 公共サービスがワンストップで誰でもどこでもいつでも受けられる社会の実現）

年度	短期			中期			長期			KPI
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
(1) 利便性の高い電子行政サービスの提供	利便性の高い公共サービスの創造	オープンな利用環境整備に向けたアクションプラン策定【内閣官房】	アクションプランを踏まえ、府省間連携を推進し、利便性の高い公共サービスを実現【内閣官房及び関係省庁】						・サービスに対する利用者満足度 ・Webサイトの閲覧数 ・API公開数等	
		文字情報基盤導入ガイドの作成【経済産業省】								
		情報連携用語彙データベースの開発・実証【経済産業省】	連携							
		情報流通連携基盤共通API(データモデル、共通ポキヤブリ、標準API規格等)等を開発・実証【総務省】								
オンライン手続の利便性向上	オンライン手続改善方針の策定【内閣官房・総務省】	オンライン手続改善方針を踏まえ、利便性向上の取組を推進【内閣官房・総務省及び関係省庁】								
政府のWebサイトの見直し	アクションプランを踏まえ、政府のWebサイト見直しに当たっての方針を策定し、推進 (政府のWebサイトについて、政府共通プラットフォームへの移行を加速するとともに、より利便性の高い政府のWebサイトを構築) 【内閣官房・総務省及び関係省庁】									
「マイガバメント」の実現	携帯電話を用いた行政サービスの利用に係る技術的課題の整理【総務省】	「マイポータル(仮称)」の整備【内閣官房及び関係省庁】			「マイポータル(仮称)」を活用した個人向けサービスの展開【内閣官房及び関係省庁】					
		コンシェルジュ型サービス実現に向けた課題の整理、検討と実証及び利用チャネルの多様化に関する検討等【総務省】								

# 検討体制



協力依頼 ↓      ↑ 報告

**情報共有基盤推進委員会**

委員長	須藤修（東京大学情報学環長）
有識者	武田英明（共通語彙基盤WG座長）、林史典（文字情報基盤WG座長）
関係団体	JISA（ソフト業界）、JEITA（ハード業界）
オブザーバ	内閣官房（IT総合戦略室、社会保障改革担当室）、総務省（行政管理局）

- 各委員会、WGの設置主体は経済産業省、事務局はIPA
- 各WGの下には、具体的な検討を行なうSWGを設置。

**共通語彙基盤WG**

<実施内容>

- 情報連携用語彙基盤DBの構築
- APIカタログの整備
- 情報連携用ツールの整備

【主査】 武田英明 (NII教授)  
 【関係省庁】 (課長級)  
 IT室、社保室、内閣府防災、総務省、国交省、国会図書館

**文字情報基盤WG**

<実施内容>

- 導入ガイドの作成
- 文字情報DBの構築
- フォント整備
- 標準化の実施

【主査】 林 史典 (聖徳大学教授)  
 【関係省庁】 (課長級)  
 IT室、総務省、法務、省

# 共通語彙基盤の現状

## ■ 平成25年「世界最先端IT国家創造宣言」閣議決定

- データの組み合わせや横断的利用を容易とする共通の語彙(ボキャブラリ)の基盤構築にも取り組む。
- 国民がステークホルダーとして積極的に参加できるよう、クラウドを活用したオープンな利用環境を、データ・フォーマット、用語、コード、文字等の標準化・共通化、アプリケーション・インターフェイス(API)の公開等を行いつつ整備する。

## ■ 平成25年「世界最先端IT国家創造宣言工程表」IT総合戦略本部決定

- 2015年度までに情報連携用語彙データベース(基本語彙の定義等をまとめたデータベース)を開発・実証する。
- 国際的な連携を踏まえた情報連携用語彙データベース(基本語彙の定義等をまとめたデータベース)の開発・実証を2013年度～2015年度に行う。

## ■ 平成25年「電子行政オープンデータ推進のためのロードマップ」IT総合戦略本部決定

- ある内容を示す用語や同じ用語の定義が組織によって異なっているとデータを横断的に又は組み合わせて処理・利用することが困難となるため、「新たな情報通信技術戦略工程表」を参照しつつ、新たなIT戦略の策定に伴って定めることとする分担に従い、用語やその定義の標準化、効率的なデータ関係のためのツール等の整備について、内閣官房、総務省及び経済産業省が連携して進める。

## ■ 平成25年「情報連携用語彙データベース、ツールプロジェクト」開始

# 参考：共通語彙基盤の現状（24年度以前）

- 平成24年「IT防災ライフライン構築のための基本方針及びアクションプラン」IT防災ライフライン推進協議会決定
  - 総務省で進める情報流通連携基盤構築事業による共通APIの開発と、経済産業省で進める公共情報交換標準スキーム（XMLベースの標準データ項目群）の検討を国際標準や国内の既存フォーマットも考慮しつつ連携させ、災害時等において必要な行政情報を迅速に提供するための検討を進め、実施可能な取組から実行する。
- 平成24年「新たな情報通信技術戦略 工程表」IT戦略本部決定
  - データ活用を促進するためのフォーマット等の規範やマニュアルの整備、公共情報交換標準スキーム等の支援システム・ツールの実証を行う。

# 現在の検討状況

- 方針検討と整備検証を以下の体制で実施。

## 経済産業省・情報処理推進機構(IPA) IMIプロジェクト

### 方針検討

- ・2012年 事前調査
- ・2013年度 基礎調査とプロト構築
- ・2014年度 基盤整備と実利用での検証
- ・2015年度 利用モデル普及とドメイン展開

### 外部調整

- ・電子行政オープンデータ推進のためのロードマップ
- ・電子行政アクションプラン
- ・有識者会議

### 普及

- ・情報交換パッケージの利用検証と意見収集

## 情報処理推進機構 情報連携用語彙データベースPJ

データベースの整備(コア語彙を管理、検索するデータベース)

「財務」「移動・交通」「地理空間・施設」「防災」のうち、他分野と関連する部分からサンプルを選び検討

## 情報処理推進機構 情報連携用語彙データベース ツールPJ

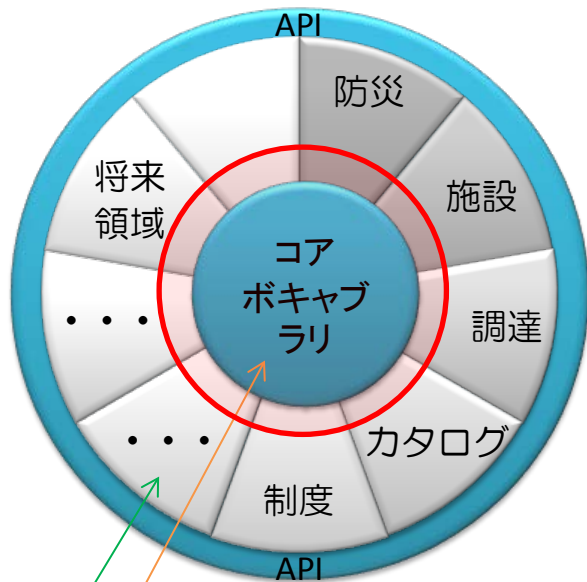
ツール開発、自治体と協力した実証

「制度」「道路」「イベント」「観光」のうち、自治体業務で実施している部分からサンプルを選び実証

- IT総合戦略本部の各種会議に報告予定。

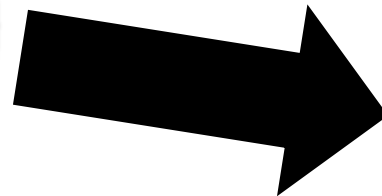
# 語彙の範囲

- コア語彙及び他業務とも関連の深い部分のドメイン語彙のみ対象とする。（「病院」という用語は、医療ドメインであるが、施設案内、防災、観光でも使用するため）
- 基本的にドメイン内でしか使わない専門の語彙は、専門家の領域なので対象としない。

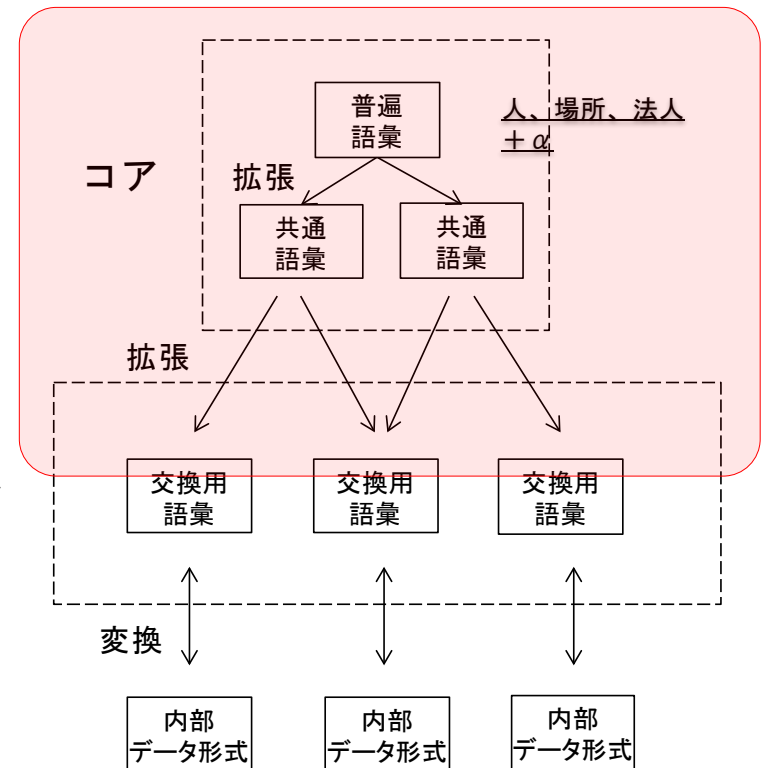


コア・ボキャブラリ  
氏名、住所等の分野共通に使う語彙

ドメイン・ボキャブラリ  
各分野内でしか使われない専門語彙



赤い範囲が対象

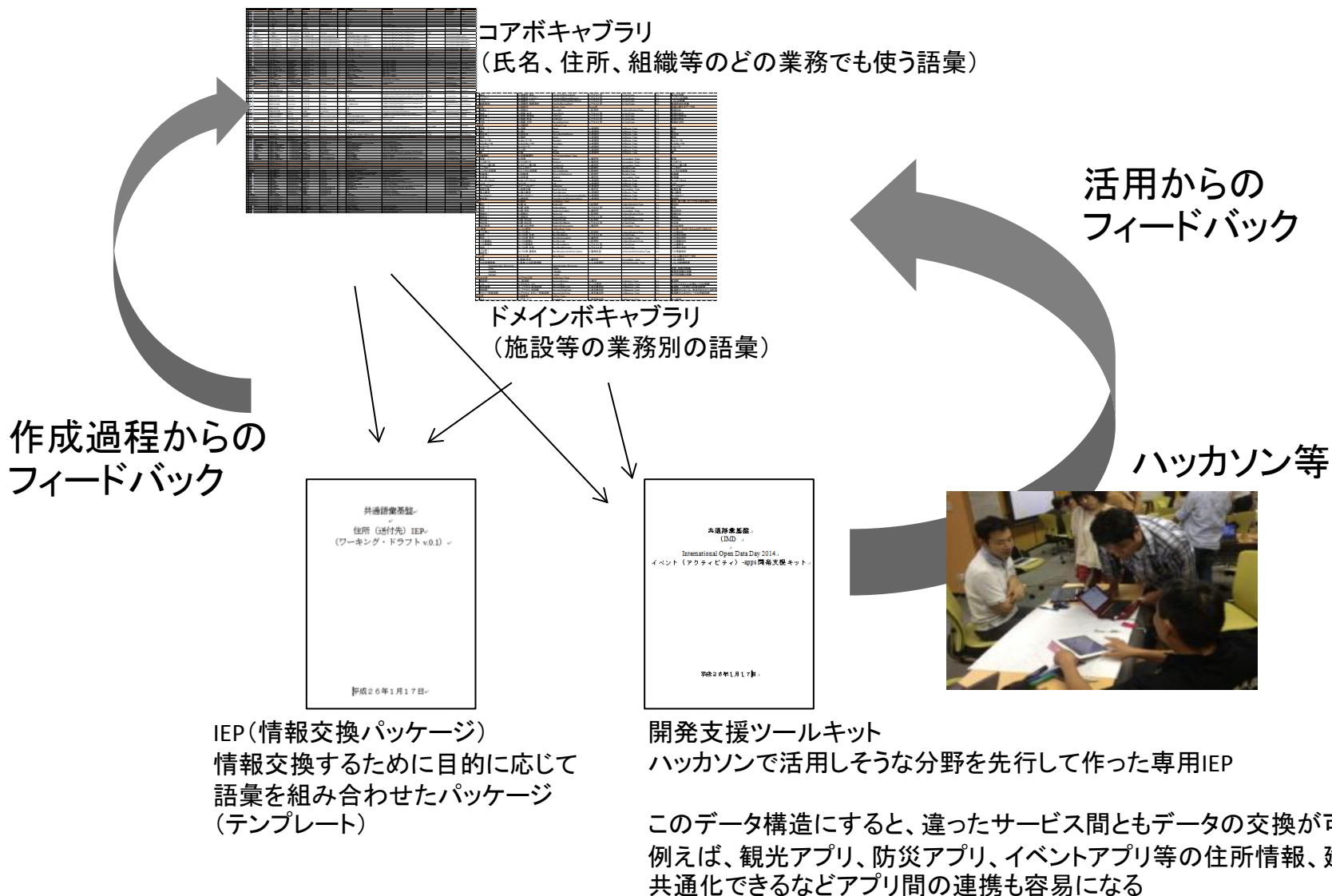


内部



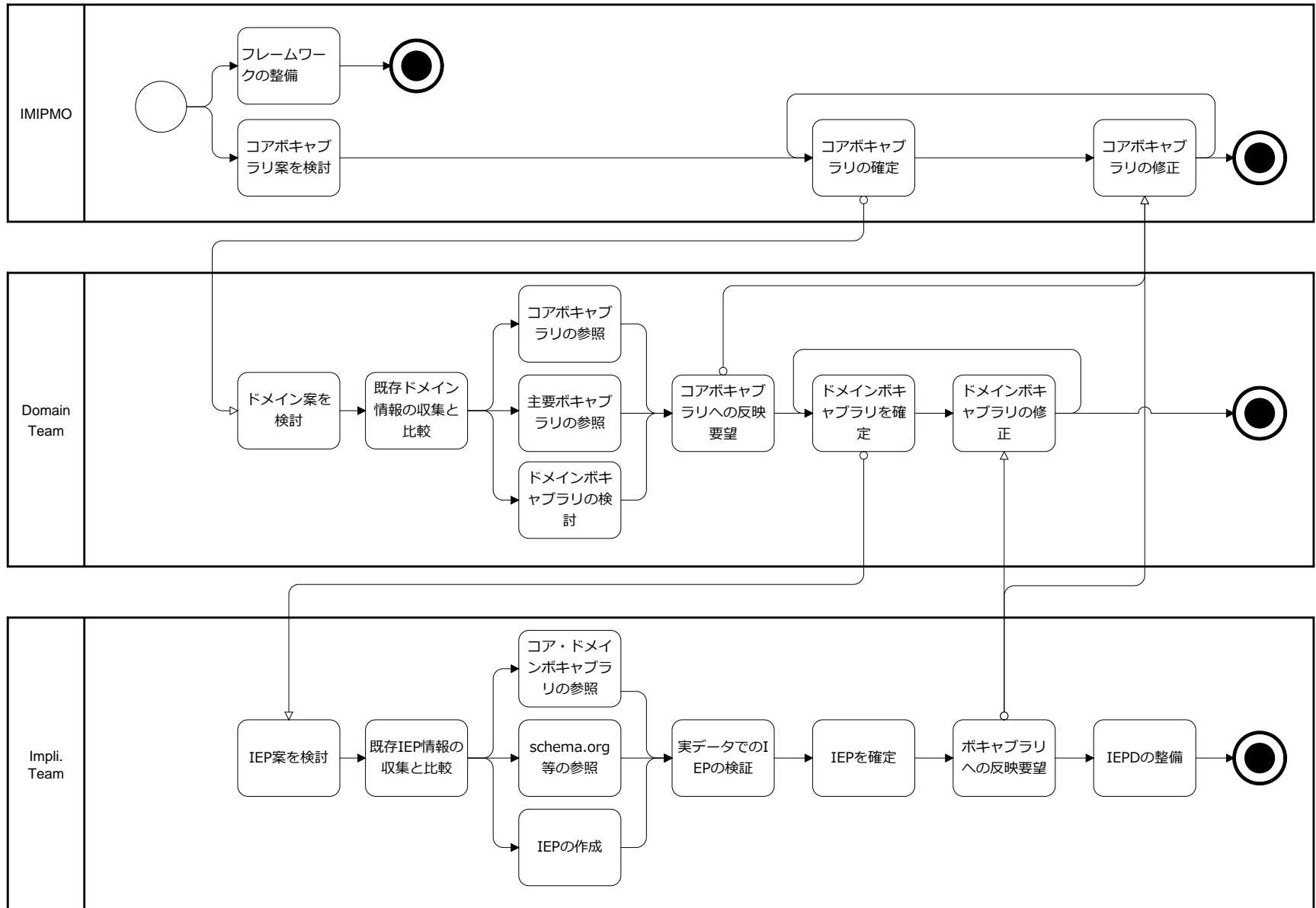
# 経済産業省での普及・検証

## ■ これまで整備した語彙を元に、アプリ開発者による検証を実施



# 参考：情報連携パッケージ（IEP）整備フロー例

## ■ IEP検討過程を通じて、語彙の整備パターンを検証



# 海外の動き(米国NIEM)

- 米国は、政府全体の語彙基盤であるNIEMを13ヶ月かけて3.0にメジャー・バージョンアップ。2013年11月に公開。フレームワークが固まっているので、語彙、コードの修正を中心に実施した。
- 技術的な変更点は語彙間の関係記述をシンプル化するとともに、コードリストをいつでも更新可能にした。また、NIEMの実装を支援するツール類は、NIEM3.0に向けて変更中
- 以下の関連規格は継続見直し中
  - NIEM Naming and Design Rules (NDR)
  - NIEM Model Package Description (MPD) Specification
  - Conformance Specification
  - Conformance Target Attribute Specification
- NIEMの適用例は広がっており、利用事例表彰を政府で行っている。

# 参考：NIEM2013表彰プロジェクト

## ■ The 2013 Best of NIEM Winners:

- **Automated Secure Alarm Protocol**
  - City of Richmond, Department of Information Technology Public Safety Team
- **Maritime Information Sharing Environment**
  - U.S. Navy Data Engineering Services Center
- **New York State Justice Center Incident Report**
  - New York State Justice Center
- **Open Justice Broker Consortium (OJBC)**
  - States of Hawaii, Maine, and Vermont
- **Temporary Resident Biometrics Project**
  - Citizenship and Immigration Canada
  - U.S. Citizenship and Immigration Services

## ■ Honorable Mention:

- **Establishment of the NIEM Biometrics domain**
  - DHS Office of Biometric Identity Management
- **Canada and United States Entry/Exit Information Exchange**
  - Traveler Systems Division, Canada Border Services Agency and Land Border Primary Applications, U.S. Customs & Border Protection
- **Commonwealth of Virginia NIEM Integration Strategy**
  - Virginia Information Technologies Agency
- **CMS API Service (CAS)**
  - AMCAD Interfaces
- **The Public Assistance Reporting Information System (PARIS)**
  - Department of Health and Human Services Office of Child Support Enforcement, Administration for Children and Families

# 海外の動き(欧州Joinup/SEMIC)

---

- 欧州では、年次コンファレンスを実施し、普及を図っている。
- 「組織」「人名」「場所」を中核に推進している。そのため、各国や自治体も取り組みやすく、導入が始まっている。
- 以下が現状のボキャブラリ
  - Registered Organization Vocabulary(W3C)
    - 今年度W3Cに採用された
  - Core Person Vocabulary
  - Core Location Vocabulary
  - Core Public Service

# 文字情報基盤の現状

## ■ 平成6年「行政情報化推進基本計画」閣議決定、平成9年改定

- 情報システムにおいて使用している外字について、JIS第3水準及び第4水準の制定を待ってその解消を図るとともに、この場合においても残る可能性のある外字について、交換のルールを策定する。

## ■ 平成14年「汎用電子情報交換環境整備プログラム」開始

## ■ 平成22年「文字情報基盤」開始（平成23年11月公開）

## ■ 平成24年「世界最先端IT国家創造宣言」閣議決定

- 文字の標準化・共通化に関しては、今後整備する情報システムにおいては、国際標準に適合した文字情報基盤を活用することを原則とする。

## ■ 平成24年「世界最先端IT国家創造宣言工程表」IT総合戦略本部決定

- 2013年度中に文字情報基盤導入ガイドの作成を行い、2015年度以降はアクションプランを踏まえ推進する。【内閣官房、経済産業省及び関係府省庁】



### 導入状況

累計ダウンロード数 5万件以上（他の民間ダウンロードサイト（窓の杜）の分を含まず）

札幌市、川口市等の先進自治体で導入。国や自治体の仕様への記載が増加中。

### 課題

- ・一部ベンダが未対応

# 文字情報基盤導入ガイドの概要

文字情報基盤: IPAmj明朝フォント(漢字58,814文字)

戸籍統一文字(漢字55,270文字)

戸籍のオンライン手続に使用することを目的として整理した文字(辞書をベースに整理)

邊邊邊邊邊邊

住民基本台帳ネットワークシステム統一文字(漢字19,563文字)

JIS漢字コード(10,050文字)

多くの住民が氏名に使う文字を整理

常用漢字(2,136文字)

実用上の情報交換の必要性から、出現頻度等を元に文字を選定  
(JISX2013:2004)

邊邊邊  
邊邊邊  
邊邊

法令、公用文書、新聞、雑誌、放送等、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安を示す。

辺

邊邊

システムにどのように実装していくかが難しいため、ガイドを作成



## 文字情報基盤導入ガイド

- ・導入パターンの提示  
利用場面毎の上記文字の推奨モデル
- ・縮退変換マップの計画  
文字情報基盤からJISへの縮退推奨モデル

今後の方向性

- ・IT総合戦略本部に報告。
- ・更に、自治体やベンダ向けの普及、導入支援セミナーなどを計画中。

## 関連ドキュメント

文字情報基盤導入テクニカルスタディ  
・プライベート領域を使った暫定処置

変体仮名案

技術参照モデル(TRM)[作成予定]  
・仕様書記載案

# 参考

## IPAmj明朝フォント月間合計/累計ダウンロード数

